

2005.10.3・改定

## 2005 年度 日本環境教育学会 第 4 回運営委員会 議事要録

会期 2005 年 9 月 17 日（土） 13：00～16：30

会場 明治大学リバティータワー 11 階

出席 小澤、朝岡、飯尾、乾、植田、萩原（彰）、金田、陸、戸田、林、樋口、福井、藤岡、本庄、見上、西城戸、小栗（途中出席）、塩瀬（途中出席）

欠席 木内、小堀、湊、山田、佐島

オブザーバー 岩井

記録 野田、水谷

### <確認事項>

#### 1. 2006 年度大会について

- ・ 大会案について、乾委員からの報告があった。（大会案・別紙）
- ・ 朝岡事務局長から、来年度の大会にむけ、次の 3 点が運営委員会の方針として示された。
  - ①大会の成功が学会の活動のすそ野を広げ、組織の強化につながるよう北海道内各地の会員を結集し、複数の大学（機関、施設）の協力で開催されるよう努力する。
  - ②早急に地域及び大学（機関、施設）等のバランスを考えた実行委員会を発足させる。（次回運営委員会 11/12 までに）
  - ③実行委員会の発足に併せて会長もしくは事務局長がご挨拶にうかがい、大会担当運営委員とともに必要な支援を行う。

#### 2. 退会者の確認

別紙の通り退会者の確認がなされた

#### 3. 講演申請の依頼

別紙の通り後援の確認がなされた

#### 4. 中央環境審議会総合政策部会と各種団体との意見交換会への出席について

朝岡事務局長の出席が報告された。

#### 5. 「こども地球白書」の編集協力について（陸委員より）

こども地球白書は、ワールドウォッチ研究所でこれまでに 4 回刊行。『地球環境白書』の元本を利用して書くが、従来表現が子ども向けでなかったり、書き手が環境の専門家でないので、要約版になってしまっていた。その改善のために、ワールドウォッチからの依頼があった。陸委員が窓口となって対応し、現在、会員を中心に 9 章分 9 名の方に執筆を依頼している。

#### 6. その他

##### （1）会費の納入状況について

3 年以上滞納者は、意思を確認して、退会の手続きを取ることを提案、次回常任運営委員

会で協議したい。

(2) ニュースレターの発送基準について

作業量の簡略化も含めて、規約どおり 2003 年まで会費納入の会員に発送することとした。

(3) 学会誌の発送基準について

学会誌は、従来当該年度のみ発送してきたが、一年滞納なら督促もかねて送付することとしたい。

(4) ニュースレターへの折り込みチラシについて

チラシ同封一枚 5 万円徴収することを提案したい。

(5) 環境教育関係学部・大学院入試情報について

学会に入試に対する問い合わせが来ているので、当面は会員から情報を集めて依頼があったものについて掲載することを提案したい。

(6) 日本教育学会賞の審査について

「地球となかよし」の協賛依頼を受けたが、協賛団体として小澤会長が出席することが報告された。

<協議事項>

7. 新入会員の承認

別紙の通り、個人・正会員 12 名、団体会員 1 団体が承認された

8. 各委員会からの報告と協議について

(1) 編集委員会から (樋口委員)

- 報告事項 30 号を 8 月 31 日づけで発行した。現在、31 号に向けて査読編集中。
- 協議事項 査読編集委員のシステムの変更。編集委員会の組織のあり方などを、継続して検討する。査読報告書の改訂について、改善案が承認された。

(2) 広報委員会から (本庄委員より)

- 報告事項
  - ・ ニュースレター NO. 69 号の発行日、9 月 25 日発行予定。
  - ・ ニュースレター NO. 70 号の発行日を、12 月 10 日発行予定。70 号から A4 版と
  - ・ 広報ガイドライン策定プロジェクトを立ち上げ、タイムスケジュールを詰めて行いたい。

(3) 企画委員会から (見上委員)

- 報告事項 「総合的な学習の時間の『見直し』によって環境教育の実践・研究が後退することの内容指導と措置を求める申し入れ (仮題)」の意見書を企画委員の案を作成、たたき台を作った (別紙)。引き続き、内容・提出のタイミングなど企画委員会で協議を行う。

(4) 国際交流委員会から

報告事項はなし。シンポジウムに向けて、状況確認と早めにアナウンスを行うようにすることが確認された。

(5) WEB 担当から (林委員)

●報告事項 イベント情報を少しずつ更新できる状況にあると報告がされた。

web に工事中の表記があるので、年内に工事中を外してほしいとの要望が出された。

9. 学術著作権協会からの依頼への対応について (林委員より)

別紙の通り状況の報告と提案がなされ、協会と契約をする事が承認された。

10. 2006 年度科学研究費補助金の申請について

小澤会長を代表として、応募することが提案された。今年度は、事務局が作成し申請を出すということで、確認された。

11. 学会研究奨励賞の創設について

朝岡事務局長から提案があった。

これをうけ、藤岡委員から審査方法について質問がされた。今年度は審査をする人、方法を事務局に委任してほしい、との提案があり承認された。

12. 出版事業 (「環境教育学事典 (仮題)」等) について

小澤会長が、教育出版 (出版社) と協議してきた内容が報告された。出版社との契約等はまだまだ、今後、引き続き会長を中心に内容を詰めてゆくことが確認された。

13. その他

(1) 会費の自動引落としへの準備を行うことが確認された。

(2) 役員選挙制度見直しに向けたワーキンググループ発足の準備が提案され、承認された。

(3) 学会誌に年間研究動向を掲載する準備を進めることが提案された

<できるだけ速やかに検討すべき事項>

14. 学会誌・ニューズレター・WEB 等の位置づけについて

編集委員・広報委員・事務局でたたき台を準備し、次回常任運営委員会で議論を行うことが確認された。

15. 個人情報の取り扱いに関するガイドラインの策定

ガイドライン策定に向けたたたき台を作成する事が確認された。

16. プロジェクト研究の設定について

2006 年度大会にむけて学会として、シンポジウムや自由発表だけでなく継続的な議論のため、プロジェクト研究が事務局長より提案された。

17. 支部の設置および支部活動の活性化支援について

新支部設立準備を進める事が提案された。

#### 18. 「環境教育公開セミナー」(第5回、6回)の開催について

環境教育セミナーの開催が決まっているので、次回常任運営委員会までに、企画委員会と協議しながら準備を進める。

#### 19. 環境教育ガイドラインの作成について

事務局と企画委員会で案をつくり、引き続き協議する。

#### 20. 環境教育学会修士論文・博士論文合同発表会について

運営委員会主催、若手研究者の会・東京勉強会など協力で合同発表会の案が出されたが、運営委員会が主催になる事について等、引き続き協議される事になった。

#### 21. 学会研究年報の発行について

継続審議を行う事が確認された。

#### 22. その他

朝岡事務局長より、日本学術会議との関連で、教育関係学会協議会連絡会を作る動きがある。必要なら参加する方向で、情報を取り寄せたい、と報告された。

また今後、学会倫理綱領を作る必要性が提案された。

次回の運営委員会議は、11月12日を予定。翌13日に、東京勉強会定例学習会(佐島先生を招いて)と論文合同中間発表会が企画されており、先生方に参加が呼びかけられた。